

等級及び職制上の段階ごとの職員数(平成31年4月1日現在)

(別紙)

行政職給料表(1)

職務の級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	職員数(人)・割合		職制上の段階
7級	部長の職務	11	3.8%	部長級
6級	課長の職務	32	11.1%	課長級
5級	課長補佐の職務	33	11.5%	課長補佐級
4級	係長の職務	87	30.2%	係長級
3級	主任主事の職務	49	17.0%	担当級
2級	主任級主事の職務	31	10.8%	
1級	主事及び事務補の職務	45	15.6%	
合計		288	100.0%	

行政職給料表(2)

職務の級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	職員数(人)・割合		職制上の段階
3級	高度の技能又は経験を必要とする学校給食調理主任の職務	0	0.0%	主任級
2級	学校給食調理主任の職務	1	100.0%	
1級	学校給食調理手の職務	0	0.0%	担当級
合計		1	100.0%	

医療職給料表(1)

職務の級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	職員数（人）・割合		職制上の段階
3級	経営管理者、院長、副院長、部長及び主任医長の職務	15	42.8%	部長級
2級	医長の職務	10	28.6%	
1級	医師の職務	10	28.6%	担当級
合計		35	100.0%	

医療職給料表(2)

職務の級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	職員数（人）・割合		職制上の段階
7級	部長の職務	1	1.3%	部長級
6級	技師長の職務	8	10.7%	課長級
5級	副技師長の職務	13	17.3%	課長補佐級
4級	主任の職務	4	5.3%	係長級
3級	相当困難な業務を行う薬剤師、栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士及び歯科衛生士の職務	28	37.4%	担当級
2級	薬剤師並びに知識又は経験を必要とする栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士及び歯科衛生士の職務	21	28.0%	
1級	栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士及び歯科衛生士の職務	0	0.0%	
合計		75	100.0%	

医療職給料表(3)

職務の級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	職員数（人）・割合		職制上の段階
7級	部長の職務	1	0.5%	部長級
6級	課長の職務	6	2.8%	課長級
5級	看護師長の職務	54	24.7%	課長補佐級
4級	主任の職務	22	10.1%	係長級
3級	相当困難な業務を行う保健師及び看護師の職務	49	22.5%	担当級
2級	保健師及び看護師の職務	86	39.4%	
1級	准看護師の職務	0	0.0%	
合計		218	100.0%	